

平成19年6月13日

参議院政府開発援助等に関する特別委員会

## 参議院政府開発援助等に関する特別委員会の開会及び調査報告書（中間報告） （提言「新たな国際援助の在り方に向けて」）の議決・提出について

参議院政府開発援助等に関する特別委員会（ODA特別委員会）（山崎正昭委員長）は、以下のとおり委員会を開会し、調査報告書（中間報告）（提言「新たな国際援助の在り方に向けて」）を議決・提出し、安倍内閣総理大臣ほかに対する質疑を行った。

### 1. 会議の日時・議題等

- （1）日時 6月13日（水）午後1時
- （2）場所 第41委員会室
- （3）案件
  - （イ）調査報告書に関する件（提言のポイントについて別紙1参照）  
（政府開発援助等に関する調査報告書（中間報告）を議長に提出することを決定。）
  - （ロ）中間報告に関する件  
（本会議における中間報告を申し出ることを決定。）
  - （ハ）政府開発援助等に関する調査  
質疑 2時間

### 2. 中間報告に至る経緯

#### （1）ODA特別委員会設置の経緯

参議院では、二院制の下における参議院の独自性を高めるため、決算審査の充実等の観点から、ODAをめぐる諸問題に対して積極的に取り組んでおり、平成16年以降、毎年、ODAに関する専門の議員調査団を海外に派遣し、これまで延べ20か国において現地調査を実施してきた。

このような経緯を踏まえ、第164回国会召集日の平成18年1月20日、ODAを始めとする国際援助・協力に関する諸問題を調査するため、ODA特別委員会が設置された。

ODA特別委員会は、衆議院にはない参議院独自の委員会であり、30人の委員により構成され、参議院の全会派が参加している。

## (2) ODA特別委員会における調査

ODA特別委員会では、効果的・効率的な援助が行われるよう評価を含めた調査を進め、ODAと国益や外交戦略との関係、戦略的な援助とODA実施体制の見直し、ODAの透明性の向上などの諸課題について特に以下のような調査を行ってきた。

(イ) 外務、財務、文部科学省等の13府省庁に別々に計上され、これまで別々に審査されていたODA関係予算を特別委員会として横断的に一括して審査(平成18年度総予算委嘱審査より)

(ロ) 参議院政府開発援助調査派遣団の報告を聴取し、意見交換をすることで派遣の成果をフォロー

(ハ) 来日中の外国要人(ソマレ・パプアニューギニア首相、カガメ・ルワンダ大統領及びブアソン・ラオス首相)の出席を得て、我が国のODAの効果や問題点などについて意見交換し、被援助国の考えを聴取

(ニ) ODAと外交戦略、東アジア援助、平和構築、アフリカ支援、NGOや企業活動などのテーマにつき内外の研究者、実務者を招き参考人質疑

今般、上記議論を踏まえ、我が国の新たな国際援助・協力の在り方について国会からの考え方を発信し、ODA政策に反映させるため、7項目からなる提言を取りまとめ、調査報告書(中間報告)を議決した。

調査報告書(中間報告)議決を踏まえ、山崎正昭委員長より本会議にて報告を行う予定。

# 別紙 1 「提言 - 新たな国際援助の在り方に向けて - 」(ポイント)

平成19年6月

参議院政府開発援助等に関する特別委員会

## 7 項目の提言

### 1. 援助ビジョンについての明確な国民へのメッセージ

#### (1) 適正な援助水準に向けた事業量の確保

ODAは外交の基盤である。我が国の国益のためにも、ODA削減に歯止めをかけ、純増による量的確保を行うべき加えて、国際社会での信頼確保のためにも、援助にかかる我が国国際公約の誠実な履行を

#### (2) 「選択と集中」による援助戦略と「地域戦略方針」の策定

「海外経済協力会議」において我が国の援助戦略の議論をし、内容の原則公開による国民へのメッセージ発信を ODA大綱と国別援助計画の中継ぎとして「地域戦略方針」の策定も検討すべき

### 2. 我が国の援助資源の総合的活用と途上国との「互惠」関係

民間部門の活動の基盤づくりのため、NGOへの税制優遇措置の拡大、民間投資促進のためのODAの活用を

### 3. 日本型援助の知見を活かした「平和構築」の推進

「平和国家日本」のイメージを基礎とし、より早い段階から平和構築に主体的・積極的な関与を

### 4. 「援助量」大国から「援助人材」大国へ

#### (1) 「人間の安全保障センター(仮称)」の創設

アジアのハブ機能を有する「人間の安全保障センター(仮称)」の創設も視野に入れ、国際援助研修体制の整備・強化を

#### (2) 国際援助活動におけるキャリア・パスの確立

育成した人材を無駄にしないために、官民双方向の人事交流、国際機関への人材派遣の推進を

#### (3) 新JICA発足に伴う「援助力」の強化

新JICAは援助にかかる日本代表であることを自覚し、援助課題に対し迅速・的確に対応するなど援助力の向上を

### 5. 東アジアの成長と統合に向けた我が国援助の役割

東アジアのバランスある成長のため、経済連携協定の締結等を進めるとともに、援助による地域内の格差是正の取組を

### 6. アフリカの貧困削減と支援理由の明確化

アフリカは世界最大の援助課題である。「貧困削減と経済成長との好循環」をもたらすため、環境・教育支援といった、アフリカの持つ可能性を実現できるような援助に重点を

### 7. 参議院による援助政策への積極的関与

ODAの効率的・効果的实施のため、引き続き参議院は国際援助について専門的な調査を進めるべき特別委員会等での調査を通じ、我が国援助の方向性・援助予算の大枠の在り方について、積極的な関与を

## 提言の経緯

1. 参議院では、決算審査の充実等の観点から、延べ20か国にわたるODA海外派遣による現地調査を始め、ODAをめぐる諸問題に積極的に取り組んできた。
2. 第164回国会(平成18年)以降、ODA特別委員会を設置し、委嘱審査におけるODA関係予算の一括審査、来日中の被援助国要人の招致、参考人質疑などによる調査を進めてきた。
3. 我が国の新たな国際援助・協力の在り方について国会からの考え方を発信し、ODA政策に反映させるため、今般、7項目の提言をとりまとめ、調査報告書(中間報告)を議決することとした次第。